資料２

第３次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

～未来～

創造都市高松
CREATIVE CITY TAKAMATSU

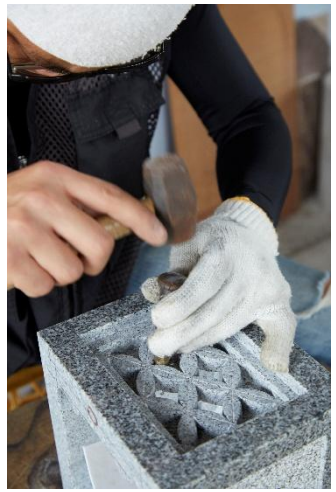
基本方針「未来」について

未 来

未来に向けて、高松らしい産業や文化芸術を次世代に継承させます

取組の方向性

- 文化芸術や伝統芸能等、子どもが「ほんまもん（本物）」に触れる機会の充実を通じた、創造力を育む取組の推進
- あらゆる人が、暮らしの中で、文化芸術、スポーツ等を実感できる仕組づくりや事業の推進
- 歴史や伝統、文化等の承継と活用
- 「つなぐ」人材の育成・支援



未 来　未来に向けて、高松らしい産業や文化芸術を次世代に継承させます

特産品・伝統的ものづくり　後継者等育成支援

①産業振興課　②農林水産課

事業概要	盆栽、漆器、石製品を始めとする本市の伝統的ものづくりの後継者や担い手の確保・育成を行うもの。	担い手不足が深刻化する農業分野において、多様な農業人材の確保・育成を図るもの。
	①伝統的ものづくり後継者育成奨励金	**②農福連携推進事業**
	• 伝統的ものづくりの後継者の育成に取り組む意欲を有し、実践的な技術指導を実施する事業者や産地組合に対して、月額５万円を奨励金として支給する。	• 農業・福祉の連携に関する啓発活動や両者の相互理解を促進することにより、農業分野における障がい者の就労や生きがいづくりの場を創出するとともに、多様な農業人材の確保・活用を図るもの。 • 令和6年度に設立した「高松市農福連携推進協議会」の取組と、7年度に創設した「農福連携スタートアップ事業補助金（市単独事業）」を連動させ、市内における農福連携マッチングの拡大を図るもの。
予算・決算	令和６年度予算・決算（900千円・400千円） 令和７年度予算　3,600千円	令和６年度予算・決算（792千円・409千円） 令和７年度予算　1,200千円
事業の成果・効果	• 令和６年度支給実績　２人（400千円） （香川漆器・１人、庵治産地石製品・1人） • 香川漆器においては、普段塗りを行っている職人が、現在市内に１社しかない木地事業者から技術指導を受けている。また、分業制である庵治産地石製品については、水平研磨部分の技術指導を受けている。 • 令和７年度は、６年度の２人に加え、香川県漆芸研究所の卒業生が塗り部門の技術指導を受けている。 • オープンファクトリー参加者や香川県漆芸研究所卒業生の受け皿としての活用を期待している。	• 協議会主催の体験会や視察研修の実施により、相互理解が促進された。 • これまでに取組の無かった品目（キウイフルーツ）でマッチングが拡大し、新たに取り組む農家が増加した。 ●補助金申請状況（R7） ●協議会の取組(R6～)

●補助金申請状況（R7）

年度	件数（農業者）	件数（福祉事業所）
7	7	4

●協議会の取組(R6～)

年月	内容	参加者数
R6.9	キウイフルーツの生産現場見学会（JAキウイフルーツ部会と連携）	事業所4施設
R6.10	花き（キク）の農作業体験会	事業所6施設、農業者3名
R7.2	「たかまつ食と農のフェスタ」（マルシェ）で事業所が生産物を販売	事業所2施設出展
R7.2	先進地視察研修（愛媛県西条市）	協議会員14名
R7.4	キウイフルーツの農作業体験会（JAキウイフルーツ部会と連携）	事業所7施設、農業者3名
R7.4～	キウイフルーツの農作業継続試行、請負開始	事業所4施設と農業者6名が新規に請負開始
R7.10	ミカン収穫の農作業体験会（JAかんきつ部会と連携）	事業所4施設、農業者3名

未 来　未来に向けて、高松らしい産業や文化芸術を次世代に継承させます

０歳からのコンサート事業　文化芸術振興課

事業概要	幼い頃から音楽に触れる機会を提供し、音楽文化への関心を深めることを目的として、０歳からの乳幼児及びその保護者、妊婦とその家族を対象に、年４回実施している。市内に拠点を置くプロオーケストラ「瀬戸フィルハーモニー交響楽団」の演奏を親子で楽しむことで、子どもたちは小さい頃から本格的な音楽に親しみ、豊かな感性や集中力、表現力を育むことができる。
予算・決算	令和６年度予算・決算（1,000千円・1,000千円）　令和７年度予算　1,320千円
事業の成果・効果	• プロの演奏に加え、歌や踊り、仮装などを取り入れ、五感で音楽を楽しめる構成としている。 • 保育士を配置していること、子どもが泣いても安心して参加できる環境づくりにより、多くの申込があり毎回抽選となるほどの人気を得ている。 • 親子で音楽を共有することで、家庭や地域での交流が生まれ、文化・芸術を身近に感じる機会となっている。 • 幼少期から生の演奏の迫力や演奏者の真剣な姿に触れることで、音楽の楽しさや創造する喜びを実感するとともに、子どもたちの感性を育み、将来の文化芸術活動や地域産業を支える人材の育成につながることが期待される。

未 来　未来に向けて、高松らしい産業や文化芸術を次世代に継承させます

スポーツ士派遣事業	こども保育教育課
事業概要	昨今の小・中学生の体力の低下傾向を受けて、幼児期からの運動習慣形成や体力向上につなげられるよう、積極的な取組が求められている中、就学前の子どもの体力向上と運動習慣の定着を図るため、「スポーツ士※ 」を、各施設に派遣し、子どもの基礎的な運動遊びの実践や親子運動教室の開催、保育教育士等を対象とした実技指導などを実施するもの。 ※ 平成28年度に本市が設置した、スポーツの各種目を専門的に技術指導できる指導者の登録制度（TASS）に登録され、保育所等へ派遣される指導員のこと
予算・決算	令和６年度予算・決算（584千円・481千円） 令和７年度予算　690千円
事業の成果・効果 **※施設数及び回数は、令和6年度実績**	・保育施設へのスポーツ士の派遣（18施設） 運動遊びを通して、就学前の子どもに、体を動かすことの楽しさを体験してもらい、幼児の体力向上と運動習慣の形成のきっかけに寄与した。 ・親子運動教室の実施（10施設） スポーツ士が保育施設で、親子と一緒に運動教室を実施し、家庭でもできる運動遊びを行った。 ・保育教育士等への実技指導（2回） 運動遊びや伝承遊びを楽しみながら、発達に応じた動きを体験経験できるような指導方法などについて、保育教育士等へ実技指導を行った。

スポーツ士による縄跳び教室や陸上教室など

保育教育士等への実技指導

親子運動教室